

第85回平和憲法を守る 神奈川県民集会

「紀元節」復活＝「建国記念の日」に反対し、今、改めて「皇民」化教育を問う

戦争は教室から始まる 「元軍国少女」北村小夜が語る

戦前、教育勅語と「修身」を中心とした教育によって、子どもたちは「軍国少女」「軍国少年」として育てられ、非常時には命を投げ出せという教育勅語の教えの通りに戦場に駆り出されたのです。教育勅語と「修身」から戦争は始まりました。安倍政権や自民党の政治家たちは、教育勅語の「親孝行や兄弟仲良く、夫婦相和し」などの徳目は今日でも通用する普遍的なものだと主張し、教育勅語の徳目は現在でも通用する、学校で教材として教えてもよい「道徳」教育の最良の教材だと主張してきました。「道徳」の教科化を行い、オリンピックやパラリンピックも使って、今、学校現場は正に戦前と同じ状態に変わりつつあります。「道徳」＝「修身」の教科化こそが、戦争への一歩につながります。戦争は脅かしから始まります。政権の脅かしを許さず、平和憲法を守り、再び戦争への道を歩まないために、「道徳」教育、教育勅語、パラリンピックなど反動化に突き進む今の教育の問題を 戦前の「お国のために」を経験した元軍国少女の貴重な体験から考えていきたいと思えます。多くの皆さまの参加を呼びかけます

日時 2月4日(土) **18:30**～(開場 18:15)

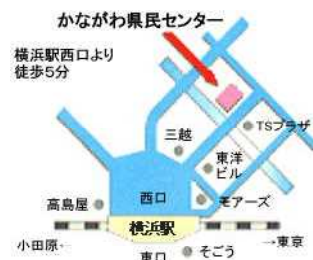
場所 県民サポートセンター604

(JR横浜駅西口より 徒歩5分)

講師 北村 小夜(元教員)

※資料代・会場費 500円 開催協力券(300円)で参加できます。

感染症対策のため、体調の悪い方の参加はご遠慮ください。また、参加時はマスク等の対策をお願いします



主催 かながわ平和憲法を守る会

代表委員 呉東 正彦(弁護士・原子力空母の横須賀母港問題を考える市民の会共同代表)

大波 修二(大和市議会議員・第五次厚木基地爆音訴訟原告団長)

連絡先 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 かながわ県民活動サポートセンター内238

問い合わせ TEL 090-11056980 e-kaihou@ezweb.ne.jp e-kaihou@nifty.com

090-2542-0413 吉田 akira-yo.manabu@docomo.ne.jp

緊急事態宣言などにより、会場が使用禁止になる場合は、中止となります。